

男性相談事業【足立区】

個別事業費	379 千円
交付金額	189 千円

地域の実情と課題

平成29年度より男性DV被害者を対象に女性相談員による男性DV電話相談を行ってきたが、同性の相談員への相談を望む声も寄せられていたことをきっかけに、男性相談員による男性相談を令和5年度から開始した。

事業の特徴

毎月2回（第2月曜日・第4金曜日）実施しており、電話または面談を選択可能。
夕方から夜間にかけて実施することで、就労者でも相談しやすい体制を整えている。

事業の効果

男性相談員による相談は3年目となり、相談件数はR5年度：11件、R6年度：27件、R7年度：33件と増加傾向にある。継続的に利用されるケースもあり、男性の悩みの拠り所として機能している。
男性相談窓口の認知度が上がり、医療機関や庁内の他部署から紹介されて相談に繋がったケースも見られるようになった。

目的・目標

家族関係・夫婦関係、旧来の「男らしさ」などの価値観による生きづらさ、DV被害等、男性の多様な悩みを相談できる場を提供することで、男性の望まない孤独・孤立を防止する。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	相談件数	36件 (アウトカム)	33件 (R8年3月末時点)	91.7%

連携団体

【委託先】 特定非営利活動法人女性ネットSaya - Saya

今後の課題

相談件数は増加傾向にあるものの、多くは夫婦関係、DVに関する相談となっている。DV相談では被害者を自称する加害者や夫婦双方が被害者として相談に入るケースが散見されるため、対応が難しく、委託事業者と対応方法を協議している。また、今後は夫婦関係・DV相談のほか、旧来の「男らしさ」の価値観による男性の生きづらさ等についても相談してもらえるような事業の周知啓発が課題である。

事業の概要

男性のための相談窓口

DV、パートナー、家族、人間関係、ハラスメント、生き方、心のモヤモヤなど、男性が抱える様々な悩みを相談できる「男性相談」を実施。

相談できる場を提供することにより、男性の望まない孤独・孤立を防止するとともに、相談窓口が身近にあることで、男性の相談に対するハードルを下げるとともに、「男性も相談しても良い」という認識を根付かせる。

実施日時・相談方法（予約制）

実施日	相談時間	相談方法
原則、 第2月曜日 第4金曜日	午後5時30分～ 午後8時30分	電話または面談 (予約時に選択)

★男性の相談員が対応します。

相談内容（例）

- ・妻やパートナーからの暴力・暴力が辛い。
- ・これってハラスメントなのかも。
- ・生活を支えなければ・・・と追い詰められている。
- ・「男らしさ」に疲れた。弱音を聞いてほしい。

男性相談 (DV相談)

無料

秘密厳守

のご案内

こんなことで
悩んでいませんか？

職場の人間関係が
うまくいかない...

パートナーとの
関係について聞いて
ほしい

誰にも話せないで
いることがある...



ひとりで悩まずご相談ください

(個人のプライバシーは守られます。)

【完全予約制】男性相談のご利用について

相談時間・相談方法

曜日	相談時間(1回50分)	相談方法
月・火・金曜日	午前11時～午後3時 ※正午～午後1時を除く	電話のみ
水・木曜日	午後4時～午後7時	電話のみ
原則 第2月曜日 第4金曜日	午後5時30分～ 午後8時30分	電話または面談(予約時に選択) ★男性相談員が対応します。

★電話相談を選択された方は、相談用ダイヤルをご案内しますので、予約時間になりましたら、ご自身から電話をかけてください。

★DV相談は被害を受けている方が対象です。加害の相談は対応していません。

予約方法

多様性社会推進課
03-3880-5222に電話
(平日9時から17時)
もしくはHP(24時間)
から予約受付



お問合せ先

足立区男女参画プラザ
(多様性社会推進課)

電話：3880-5222 / FAX：3880-0133
Eメール：danjo@city.adachi.tokyo.jp
所在地：足立区梅田7-33-1 エル・ソフィア内
(東武スカイツリーライン「梅田」駅から徒歩3分)

相談実績

	R5	R6	R7
電話	5件	0件	6件
面談	6件	27件	27件
合計	11件	27件	33件